

令和7年度行政評価 施策評価シート （令和6年度実績）
施策名 新たな文化創造・文化活動の推進

施策コード		5020303
1. 施策の担当		
主管課	市長公室 政策推進課	
関係課		

2. 総合計画における位置づけ		
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり（子育て・教育）
	施策	新たな文化創造・文化活動の推進

基本方針	
・子育て世帯や団塊の世代に対して、文化への親しみや文化活動による世代間の交流が持てるよう支援し、その文化の魅力を内外に発信します。 ・文化会館の管理運営は、最小の経費で最大の効果が発揮できるよう努めるとともに、使用料のあり方等について検討し、利用者の増加に努めます。 ・利用者ニーズに合った施設の改修整備等を効率的、計画的に行い、施設の利用環境を整備するとともに、利用者の利便性の向上を図ります。	

現況と課題	
・文化会館は築25年を過ぎ老朽化が進んでいくため、計画的に維持修繕、改修を行う必要があります。 ・令和元年度までは稼働率も安定していましたが、令和2年度から4年度は、新型コロナウイルス感染症が流行し、拡大防止のための措置を取らざるを得なくなりました。令和5年度以降は、変化する生活スタイルに対応する新たな手法を検討していくことが必要です。 ・仕事・家事・育児・介護で忙しいことによる文化芸術活動機会の減少が考えられるため、その中で文化会館として催しをどのように企画して取り組んでいくかが課題となっています。 ・情報化の進展による新しい芸術の創造にも工夫を凝らしていく必要があります。	

施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
市民	

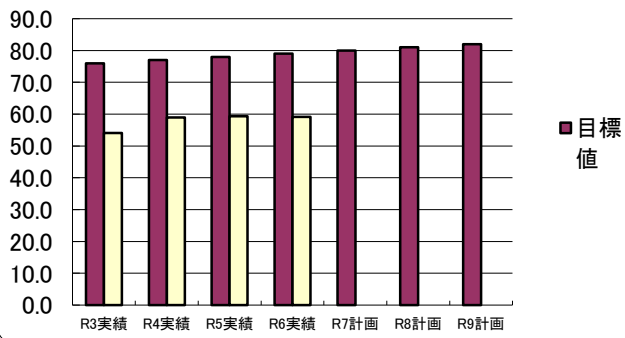
意図（どのような状態にしたいのか）	
歴史文化に加え、閑空をあわせもつ泉佐野市文化を発信し、都市イメージ・魅力の向上を図ります。空港、りんくうタウン、文化会館を文化拠点として、活用・連携を推進します。	

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	43.9	43.9					
重要度（偏差値）	35.4	35.4					

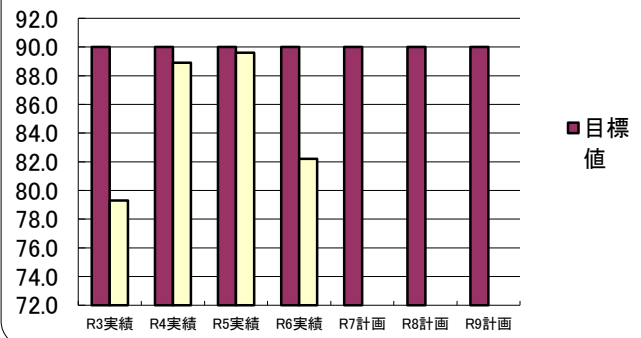
4. 施策にかかるコスト									
コストの内訳	人件費	単位	R5決算	R6決算					
	事業費	千円	7,771	8,711					
	フルコスト		1,003,173	1,002,736					
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0					
	府支出金		0	0					
	市債		0	0					
	その他		119	0					
	一般財源1（＝フルコストー特定財源）		1,010,825	1,011,447					
	一般財源2（＝直接事業費ー特定財源）		1,003,054	1,002,736					

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1		文化会館の貸館利用率					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0
実績値	54.1	59.0	59.3	59.1			
達成度	71.18	76.62	76.03	74.81			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市民の文化拠点施設である文化会館の貸館利用率を把握することにより、市民の文化活動が向上しているかどうかの目安となる。		年間1%の伸びを目標とする。		令和6年度の貸館利用率は59.1%であり、前年度から0.2ポイント減となった。これは、近隣自治体の文化ホール開館により小ホールの利用率が減となったことと分析している。			
② KPI 2		文化会館の利用に関する満足度					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値	79.3	88.9	89.6	82.2			
達成度	88.11	98.78	99.56	91.33			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
文化会館の利用に関する満足度の向上により、施設全般のハード・ソフト面において利用者が満足されていることがわかる。また、今後の施設改善をしていくための検討材料となる。		平成21年実績で文化会館の利用に関する満足度78.8%となり、単年度達成率が123.12%となったため、平成22年度より目標値の設定をより高いレベルで見直し。さらに、平成26年度から毎年度90%を目標設定とし、貸館利用者の満足向上をめざす。		貸館利用者満足度について、満足と答えた方は82.2%となり、対前年比で7.4ポイント減少した。（やや満足17.8%、やや不満0.0%・不満0.0%）ネガティブな評価は無いが、最高満足度まで持っていく仕掛けが必要である。			
③ KPI 3		文化会館の自主事業に対する満足度					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	98.6	96.8	98.4	98.2			
達成度	98.6	96.8	98.4	98.2			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
自主事業の満足度を把握することにより、文化振興事業における市民ニーズ等の動向が把握できるとともに今後の事業手法の検討材料にもなります。		自主事業に対する満足度については、大変良い・良い・普通・良くないの区分で把握。平成25年度までは大変良いの区分を実績値としていたが、平成26年度からは大変良いに加え良いの区分も実績値とし、毎年度100%を目標値とする。		対前年度比で0.2ポイント減少しているが、高い値をキープしている。			
④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

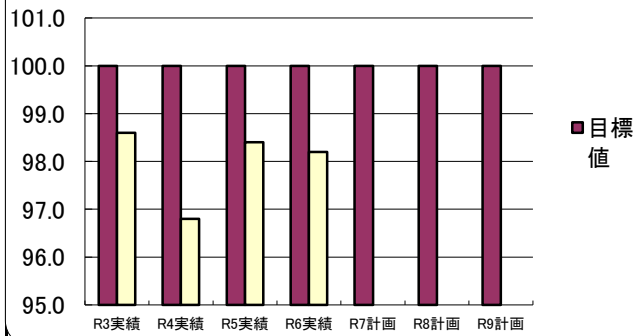
KPI①



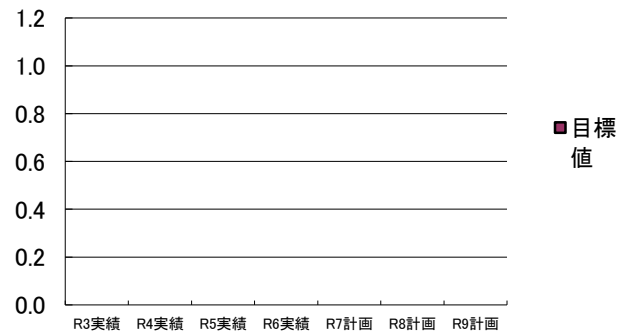
KPI②



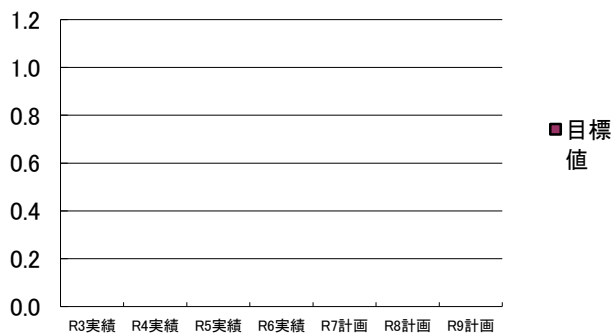
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 2	自主事業の満足度が高いにも関わらず、利用率が下がってきている。広報力が乏しいことが考えられる。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	館内3箇所にアンケート回収箱を設置し、その結果を貸館利用の改善に活用。また自主事業のアンケート調査については市民ニーズの把握に努め、事業選抜の材料として活用している。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 1	平成22年度より5年間財団法人泉佐野市文化振興財団が指定管理者となる。公益法人改革の中で、平成23年4月1日より一般財団法人へ移行。市の財政健全化計画とも整合性をとる。平成28年度からの5年間に引き続き、令和4年から5年間一般財団法人泉佐野市文化振興財団が指定管理者となる。
	合計点	(10点中) 4点	
	総合評価	D	施設利用率の実績は、59.1%となった。自主事業に対する満足度(「大変良い」「良い」)は98.2%で、高い割合を維持している。令和6年度は、利用者アンケートで開催要望の多かったミュージカル公演を大ホールにて開催し、市民の声を反映した年である。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		D	満足度・重要度ともに低い水準で市民の文化への意識が低迷している。重要度も低いことから、文化意識の高い市民の声を拾い、スポット的な対応も視野に入れる必要があると考える。
三次評価(理事者による評価)			

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R6年度決算額			R7年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01005450	文化会館等管理運営事業	8,711	1,002,736	1,002,736	0	B
合計			8,711	1,002,736	1,002,736	0	

令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業コード	020303010	予算コード	01005450	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	文化会館等管理運営事業			正規職員数	0.5	国庫支出金	0	文化会館については、これまでの経験に基づき安定した管理運営を行っている。令和6年度は、計画した主催事業については公演の中止および延期等することなく全てを実施。引き続き、ノウハウや経験を有する指定管理者による適切な管理運営を行う。	
担当課	政策推進課			嘱託職員数	1	府支出金	0		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0	市債	0		
	■条例・規則			歳出(千円)		その他	0		
	泉佐野市立生涯学習センター、図書館、歴史館いずみさの、文化会館、公民館条例			人件費総額	8,711	一般財源	1,011,447		
事務事業類型	運営事業					減価償却費	0	妥当性	B
実施手法	全部委託					事業費	1,002,736	受益者負担	B
対象				フルコスト(千円)	1,011,447	緊急性		D	事務事業実施内容
不特定の市民	対象数			市民1人当たりコスト(円)	10,179	公的関与		C	
事業の内容	文化会館等管理運営事業として以下の業務を指定管理において行うとともに、総合文化センターのセルアンドリースバックのリース料の支払いを行っている。 ①市立文化会館、生涯学習センター、佐野公民館、長南公民館、日根野公民館の各施設の貸出等及び施設管理業務。 ②市立文化会館のホール舞台等の設備維持管理業務 ③文化振興自主事業等の展開 ④総合文化センターの施設維持管理業務			活動指標	R6実績	実施主体・委託化		C	
				文化会館施設利用区分可能件数	11,850.0	他の事務事業との関連		D	
				総合文化センター開館日数	307.0	透明性		B	
				生涯学習センター開館日数	292.0	財政健全化計画		A	
				公民館開館日数（佐野公民館・長南公民館・日根野公民館）	292.0	財政健全化の取組		A	
				成果指標	R6実績	改革改善プラン達成度		該当なし	
				文化会館施設利用区分件数	4,496.0				
				文化会館来館者数	172,399.0				
				生涯学習センター来館者数	87,769.0				
				公民館来館者数（佐野公民館・長南公民館・日根野公民館）	53,075.0				
				コスト指標	R6実績				
				文化会館利用率比率（稼働率）	37.9				
				利用者ニーズを満たすことのできる施設を目指し、良好な施設環境を構築する。	文化会館等来館者一人あたりの経費	3,229.0			
文化会館等各施設の貸し出し業務をスムーズに行う。									
市民の文化活動の振興や鑑賞事業などの文化に触れ合う機会の提供									
による地域文化創造への寄与及び団体や各クラブ等との連携による地域に根ざした公民館活動を行う。									